

II 仲間づくりの授業

理解し合う

③題材名「見方を変える」

(ねらい)

先入観にとらわれずに、見方を変えながら、伝えたり、理解したりすることの大切さを知る
(相互理解)

(展開案)



活動	留意点
1 じゃんけんゲーム ・勝ちじゃんけん ・負けじゃんけん	・2つのじゃんけんを通して「勝つことがいいことである」という刷り込みがあることを実感させる。
2 誕生日チェーン	・数名の児童に、話し言葉以外の方法でコミュニケーションさせ、誕生日順に並ばせる。この活動で、日頃から話し言葉に頼ったコミュニケーションをとっていることに気付かせると共に、様々なコミュニケーションの方法を知る
3 外科医の話(ワークシート①)	・「外科医＝男性」という先入観に気付かせる。 (外科医の話) ある病院にとても有名で看護師からも人気のある外科医がいました。ある日交通事故があり、ある男性と彼の息子が車にはねられました。父親は即死。息子はその外科医がいる病院に運ばれてきました。その外科医は、その子を見て「息子！これは私の息子！」と悲鳴を上げました。
4 だまし絵 ・切り抜き文字 ・虫かごの虫 ・飛行機 など	・それぞれに見え方や感じ方が違うことに気付かせる。
5 まとめ	・人は経験を重ねると先入観や偏見が自然と植え付けられていることがあること ・価値観の違いを認めること、自分とは違う価値観を理解しようとする努力をすることの大切さを伝える。

(児童・生徒の感想)

- ・一つのものにとらわれることがあること、ものの見方を変えることでたくさんの発見がみつかることが分かった。
- ・何でも自分が正しいと思わず、どうしてそういう意見になったのかを考えてみようと思った。

